

横浜市立大学 2026 年度
ヘルスケア×データサイエンス新規事業開発人材
研究開発型オープンイノベーター（ビヨンド URA）
社会人履修プログラム

募集要項

本プログラムは、国が定める大学等における履修証明制度に該当する「履修証明プログラム」です。

「履修証明プログラム」では、学校教育法第 105 条及び学校教育法施行規則第 164 条の規定に基づき、大学が特別に社会貢献等を趣旨として、主として社会人向けに体系的な教育プログラムを開設し、その修了者 (60 時間以上の履修を完了する者) に対し、学長名の履修証明書を交付します。

1. プログラム概要

日本の更なる研究力向上のためにも、産業界を巻き込んだ「資金の獲得」や研究成果の「社会実装」の推進により自らも「事業開発」が行える人材が必要であり、時代の変遷と共に、研究者だけでなく「組織」で研究を推進することが求められるようになっています。

一方で、研究開発内容について一定の理解を有しつつ、研究資金の調達・管理、知財の管理・活用等をマネジメントする人材が十分ではないため、研究者に研究活動以外の業務で過度の負担が生じている状況にあります。このような状況を改善するため、文部科学省は、研究者の研究活動活性化のための環境整備及び大学等の研究開発マネジメント強化等に向け、大学等における研究マネジメント人材（リサーチ・アドミニストレーター：URA）の育成・定着に向けたシステム整備等を行っているところです。

本学では、「研究成果を活用しセクターを超えて共創し新しい価値を生み出せる人材」を研究開発型オープンイノベーター（ビヨンド URA）人材と定義し、本学の強みである「医学×商学×データサイエンス」分野を展開し、医療分野での研究成果および DX やデータ活用に基づいて新たな価値を生み出せる人材を育成します。

履修生にとって受講しやすい体制を整え週末の開講や遠隔開講を併用します。本学内外の新規事業開発や大学内での研究成果創出に精通した講師の先生方をお迎えした特別演習や講義を予定しています。また、本学の共創拠点等の現場を活かし、履修生が現場で感じている問題を分析、研究することで、新規事業開発を実践的に学ぶことができるのが、本プログラムの特長です。

2. 出願資格

企業・行政・大学等のいずれかで 3 年以上の実務経験がある方

3. 募集人員等

（1） 募集人員

10 名

(2) 履修期間

標準履修期間 1年（最大在籍可能期間 2年）

4. 履修科目内容

(1) 履修科目一覧（予定）

	科目名	担当教員	授業形態	時間数	場所	時間割
必修	特別研究	小川 毅彦	演習・集合研修	10	みなとみらいオンライン	※
	グローバル・サービス・マネジメント	高瀬 堅吉	講義・演習	10.5	みなとみらいオンライン	※
	科学技術行政特論	赤池 伸一	講義	12	オンライン	※
	ヘルス情報テクノロジー学	田野島 玲大	講義	10.5	オンライン	※
	研究倫理	田野島 玲大	講義	1.5	オンライン	※
※選択 一科目を必ず選択 ※二科目まで選択可	ビジネス・マネジメント	伊藤 智明	講義	22.5	ハイブリッド (みなとみらい・オンライン)	※
	サービス・マネジメント	根本 裕太郎	講義	22.5	オンライン (一部ハイブリッド)	※
	ヘルス情報マネジメント	佐藤 亨	講義	22.5	オンライン	※

※時間割未決のものは、順次お知らせします。

※選択科目を2科目以上選択希望の場合は、履修登録時に担当教員にご相談ください。

※選択科目・担当教員・時間割は変更の可能性があります。

※夜・週末・オンライン等に設定され、社会人の方に受講しやすいスケジュールとなるよう配慮されています

(2) 必修科目内容（予定）

特別研究	10 時間
研究開発型オープンイノベーターとして活躍するためには、従事したプロジェクトの回数による経験が重要である。履修者の問題意識に従い、メンターとともに研究開発型オープンイノベーションを起こすまでの一連の手順について、一通り初期的に経験する。	
グローバル・サービス・マネジメント	22.5 時間
横浜市立大学が取り組む共創事業の概要、当該共創事業において育成する研究開発型オープンイノベーター(ビヨンドURA)人材について、オンライン(またはオンデマンド)形式の講義や個人演習を通じて学ぶ。さらに、メンタルヘルステック分野における新規事業創出の企画・実装について、対面形式での講義やグループでの演習を通じて理解を深める。	
科学技術行政特論	12 時間
日本のみならず海外主要国は科学技術を振興し、イノベーションに結びつけることを重点課題としている。政策現場の経験を基に、日本および海外の科学技術イノベーション政策を行政組織、戦略策定、研究開発の現状と課題などの基本的内容を最新のトピックスや具体的な事例を交えて講義する。	
ヘルス情報テクノロジー学	10.5 時間
ヘルスケア×データサイエンスに関する最低限の知識および社会実装のイメージを明確化するために、事例についてディスカッションする。	
研究倫理	1.5 時間
臨床研究の倫理的な側面と本邦で臨床研究を行う際に遵守すべき規則について学ぶ。また、臨床研究を円滑かつ安全に推進するために横浜市立大学附属病院に設置されている、次世代臨床研究センター(Y-NEXT)の役割について概説する。	

(3) 選択科目内容（予定）

ビジネス・マネジメント	22.5 時間
組織行動論、経営組織論、経営戦略論、アントレプレナーシップ論などを中心に経営学の基礎を学ぶ。合わせて、研究成果に基づく新規事業創出の企画・実装を推進する上で研究開発型オープンイノベーター(ビヨンドURA)人材に求められる産学間での対話と共創のファシリテーション手法の基礎をグループワークで学ぶ。	
サービス・マネジメント	22.5 時間
社会・経済活動をサービスの視点から捉え直し、そのデザインや実践のための方法論を学ぶ。サービス・マネジメントでは、基礎としてサービス・ドミナント・ロジック等の基本理論をおさえつつ、応用として価値共創を基軸とした組織のマネジメントに重きを置く。	
ヘルス情報マネジメント	22.5 時間
わが国におけるヘルスケア領域(健康・医療・介護)のデータの特徴を学びつつ、その利活用について事例を通じて理解を深める。本領域における研究開発型オープンイノベーター(ビヨンドURA)人材に求められるデータ利活用の知識とスキルの獲得を目指す。	

(4) 修了認定

必修科目（上記 5 科目）と、選択科目より 1 科目を履修し、60 時間以上の過程を修めた方には履修証明書を発行します。さらに選択科目から 1 科目履修が可能です。

（追加履修を希望される場合は、履修登録時に担当教員にご相談ください）

5. 出願手続き方法

受講を希望する方は、次の書類を出願期間内に提出してください。

提出書類	様式等
願書(履歴書)	指定様式(写真添付)
志望理由書	指定様式

(1) 書類提出期間（予定）

2026 年 1 月 22 日（木）～2 月 5 日（木）

(2) 提出方法

データ提出

件名に「研究開発型オープンイノベーター（ビヨンド URA）社会人履修プログラム」出願と記載し、必要書類 2 点の PDF データを添付して提出してください。

＜データ提出先＞

横浜市立大学 研究・産学連携推進課研究企画担当

研究開発型オープンイノベーター（ビヨンド URA）社会人履修プログラム 担当宛

E-Mail : beyondURA@yokohama-cu.ac.jp

6. 選考方法及び合否について

(1) 選考方法

応募状況によっては、書類選考・面接審査を行います。

(2) 合格発表

3 月上旬ごろに通知します。

7. 入学

4 月入学。入学後オリエンテーションを実施しますが、詳細については合格者に対して別途ご連絡いたします。

8. 履修料

200,000 円

9. 留意事項

- ・本募集に関する変更等が生じた場合は、直ちに出願者に通知します。
- ・受講者には学生運賃割引証の交付及び学内諸団体への所属、その他正規の学生としての特典は有りません。ただし、図書館は利用できます。

10. 問合せ先

横浜市立大学 研究・产学連携推進課研究企画担当

beyondURA@yokohama-cu.ac.jp